



## 石油危機

2026年2月28日アメリカが、イランに軍事攻撃を開始しましたが、そこから世界中で原油関連の問題が起きました。国内でも、原油が輸入されないことにより、様々な問題が生じたのは、皆さんご存知のとおりです。

国際エネルギー機関（IEA：International Energy Agency）の報告<sup>1)</sup>によると、2025年にホルムズ海峡を通った原油及び石油製品は1日当たり約2,000万バレルが通ったとされています。1バレル（バレル＝樽の意）は、体積的に158.987リットルで、約159リットルとなりますが、18リットルのポリタンク約9個分ですね。ちなみに原油の重さは、1バレル＝128～143kgです。



さて、1日約2,000万バレルというのは。世界の海上石油貿易の25%に当たることと、この海峡の通行が滞ると、世界的に影響を及ぼすことになります。といいますか、まともに今回影響を喰らってしまったわけです。

ホルムズ海峡を通る原油

|                                |
|--------------------------------|
| 1日約2,000万バレルがホルムズ海峡を通過         |
| 世界の海上石油貿易の約25%を占める             |
| その80%はアジア向けである                 |
| パイプラインによる迂回能力は1日350万～550万バレル程度 |

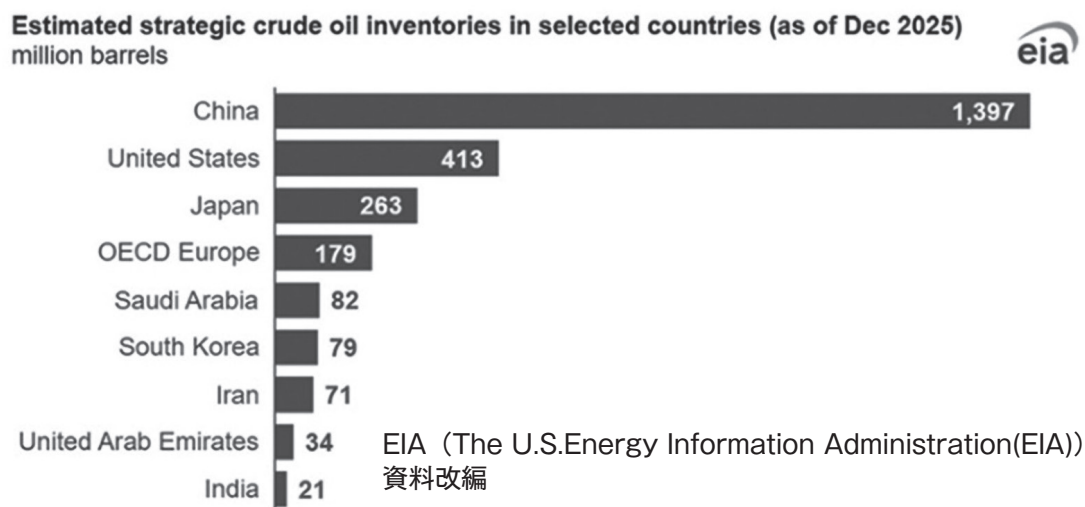
また、天然ガス（LNG）についてはカタールが輸出するLNGの93%、UAEが輸出するLNGの96%がホルムズ海峡を通過するのです。

ちなみに主要国の2025年12月の原油備蓄量は、表1のとおりです。こちらの表は、IEAではなく、米国エネルギー情報局（EIA）の情報で、単位は百万バレル。

一番多い中国が、1,397百万バレルで突出しており、ついでアメリカ、そして日本の263百万バレルとなっています。

日本の場合は、先に記したIEAに加盟しているので、そこで義務付けられている90日間の原油備蓄があります。さらに「石油の備蓄の確保等に関する法律（石油備蓄法）」により独自に原油を備蓄しています。考え方として、「IEAの90日基準」＋「中東依存度の高さを考慮した日本独自の安全保障上の余裕」＝240日前後の備蓄をすることになっています。そして、アメリカとイランの紛争前ですと、国が管理するものとして約145日前後、民間備蓄で90日前後合わせて、おおよそ7,289万klありました（資源エネルギー庁：2026年1月末）。

表1. 主要国の戦略的原油備蓄の推定値（2025年12月現在）単位百万バレル



資源エネルギー庁とEIAの数字がずれています。EIAの表の日本の原油備蓄量は263百万バレル、経産省資源エネルギー庁は7,289万kℓです。

EIAの石油は、主に国家備蓄の原油量を指しています。つまり、263百万バレル×159＝4,180万kℓとなり、資源エネルギー庁発表の7,289万kℓのうち、国家備蓄量が約4,149万kℓ<sup>2)</sup>とほぼ等しくなりました。なお、6月現在の国家備蓄量は、3,578万kℓ÷230百万バレルと少し減少しています。

IEAが決めるのは、その国の実情に合った90日分の石油備蓄で、量はその時の国の考えて変わってきます。

そして、EIAは、ほぼ原油のみの数字、資源エネルギー庁では、原油と石油製品の換算したものなどを含むので、お互いの数値は厳密には一致しません。

日本での原油の備蓄は、年配の方はご存知の1973年の石油危機に端を発しています。その後、1975年に石油備蓄法が制定、1978年に国家備蓄開始が始まりました。原油は現在、国家備蓄、民間備蓄、産油国共同備蓄の3種類があり、おおよそ200日以上原油を確保するようになっています。

今回の化学のこぼなしは、世間で騒ぎになったナフサの問題に関して、ナフサとは何ぞや、を紹介するつもりでしたが、思ったより原油のことが気になってしまいました。ナフサ等の石油化学の話は、また次回させていただきます。

1) : Strait of Hormuz Factsheet

<https://www.iea.org/about/oil-security-and-emergency-response/strait-of-hormuz>

2) 資源エネルギー庁

[https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/petroleum\\_and\\_lpgas/pl001/pdf/2026/260115oil.pdf](https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/petroleum_and_lpgas/pl001/pdf/2026/260115oil.pdf)